

設備工事情報シート	空 調	Ⅳ－A－1	制 定	2004年4月1日
			改 訂	2016年3月1日
Ⅳ. アフタークレーム	エアコンドレン隠蔽部の漏水		ドレンホース配管の注意点	

1. 目的・概要

現在、壁掛けルームエアコンのエアコン本体付属ドレンホースと接続用ドレンホース（メーカー市販品）の接続方法に統一性がない為、その接続部の接続不良による漏水が多くみられる傾向にある。そこで以下のような対策が必要になる。

2. 対策（※メーカーの取扱説明、取付要領は必ず読むこと）

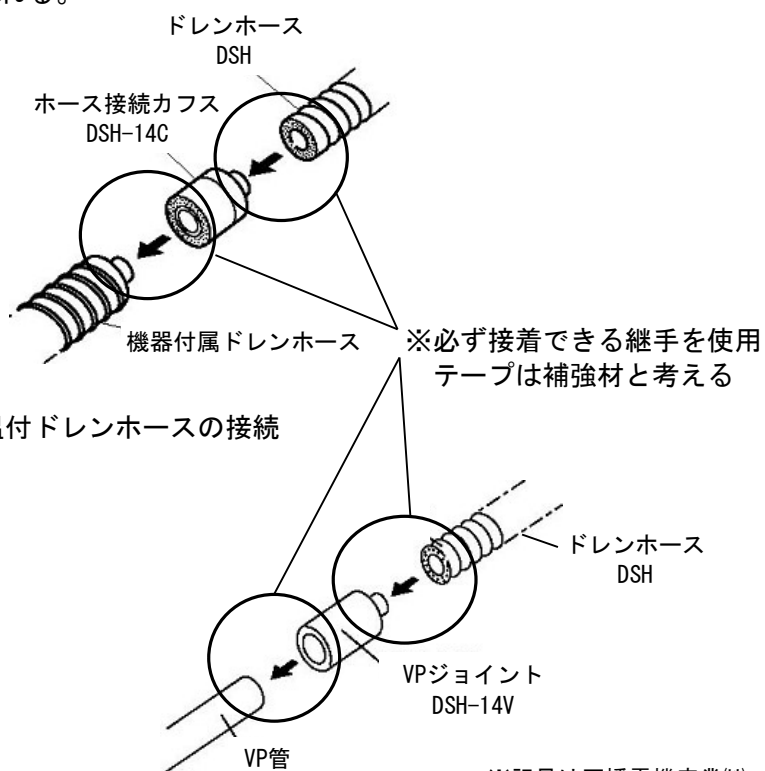
- (1) エアコン本体付属ドレンホースと接続用ドレンホースの接続にホース接続カフス（メーカー市販品）を採用する。但し、この場合断熱ドレンホースを使用すること。
- (2) エアコン本体に付いているドレンホースの材料が各々メーカーによって違う為、その材質に見合った接着剤及びテープを使用する。
- (3) テープの巻回数は5重巻き（経験上の推奨値）以上とし、施工後に引張り試験を行い、抜け易くなっていないか、また、引っ張られ過ぎていないかを確認する。
- (4) 基本的に、隠蔽部へは使用は好ましくない。
スリムダクト内などの施工が推奨される。



機器付属ドレンホースと保温付ドレンホースの接続



硬質塩化ビニル配管（VP）と保温付ドレンホースの接続



※ 接着剤にて接続し補強材としてテープ巻を行う。

（材質がPVC、VPの場合は塩ビパイプ用接着剤を使用可能）

（材質がP.Pの場合は塩ビパイプ用接着剤は使用不可の為、テープ巻のみとなる）

（ポリプロピレン用接着剤は、確認が必要）

※ テープは、自己融着テープを使用することもあるが、部材が変色するので注意が必要。

また、この使用法は自己融着テープの本来の使用法ではないが、密着性や耐候性が良いので経験上使用されている。（横引き箇所への使用は推奨しない）

資 料

3. 参考資料

(1) 壁掛けエアコン本体付属ドレンホースの材質リスト

メーカー名		材質	接着剤
1	ダイキン工業(株)	ポリプロピレン (P.P)	×
2	(株)日立製作所	ポリプロピレン (P.P)	×
3	パナソニック(株)	ポリエチレン (P.E)	×
4	三菱電機(株)	ポリプロピレン (P.P) ポリエチレン (P.E) 混合	×
5	(株)東芝	ポリプロピレン (P.P)	×



1. ダイキン工業(株)



2. (株)日立製作所



3. パナソニック(株)

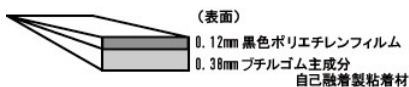


4. 三菱電機(株)



5. (株)東芝

(2) 自己融着テープ



[特性]

項 目		特性値
引張強さ N/mm ²	常 温	2 以上
	加熱老化後	2 以上
伸び%	常 温	350 以上
	加熱老化後	300 以上
体積抵抗率 Ω・cm (20℃)		1×10 ¹⁵ 以上
絶縁破壊強度 kV/mm		30 以上
粘 着 力 N/20mm幅		20 以上
耐オゾン性		良好

数値は実測値であり保証値ではない。

使用方法]

テープにしわがよらず、対象物に密着する程度（テープ幅が1～2mm狭くなる程度）に軽く引っ張りながら接着面を内側にし、1/2の重なりで巻きつける。
引っ張り過ぎるとずれる可能性があるので注意する。寒冷時には、着衣のポケットに入れるなどして、少し温めて（テープ温度：+5℃～+30℃）使用する。